

感染症情報 10月30日～11月5日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	664例(堺市	26例)
②溶連菌感染症	352例(堺市	13例)
③RSウイルス感染症	254例(堺市	27例)
④手足口病	140例(堺市	5例)
⑤みずぼうそう	96例(堺市	3例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	82例(堺市	15例)
---------	--------	------

が報告された。

感染症報告数は前週比4.1%減の1,781件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より4%減、堺市で前週より13%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より10%増、堺市で前週23例→今回13例であった。RSウイルス感染症は府下で前週比17%減、堺市で前週19例→今回27例(42%増)であった。定点当たりで見ると、前週が1.5で、今回は1.3であった。手足口病は府下で前週比4%減、堺市で前週10例→今回5例であった。みずぼうそうは府下で前週比23%増、堺市で前週3例→今回3例であった。

インフルエンザは府下で前週62例→今回82例で32%増、堺市では前週3例から今回は15例となった。定点当たりでは前週0.2で、今回は0.3である。

麻疹や風疹の報告はなかった。